



～コミュニティ・スクール推進委員会のできる～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

コミュニティ・スクール推進委員会はどんなことをするの？

令和2年度から本格導入する板橋区コミュニティ・スクールは、コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部を両輪・協働の関係で運営し、学校の教育活動を支援する仕組みです。今年度、コミュニティ・スクール委員会の準備会であるコミュニティ・スクール推進委員会を区内の区立全小中学校に設置しました。このコミュニティ・スクール推進委員会は、原則年5回開催しますが、各回では一体どんなことを行うのでしょうか？

答えは…「学校運営の基本的な方針（※）の承認」と学校の課題等に関して熟慮と議論を重ねる「熟議」、そして関係機関との情報共有等を行います。「星空学校（架空の学校です!）」の年間スケジュールを例に見てみましょう。

※基本的な方針とは…次年度の教育課程・学校経営方針・学校経営計画の基盤となる「教育目標」のことで、校長先生が作成します。「教育目標」では、①学校の教育目標、②学校の教育目標を達成するための基本方針、③最重点教育活動を定めます。基本的な方針の承認を通じて、育てたい子ども像や目指す学校像に関する学校運営のビジョンを共有します。

令和元年度 星空学校 コミュニティ・スクール推進委員会年間スケジュール(例)

	学校運営の基本的な方針の承認	熟議テーマ	その他
第一回目	今年度の学校経営方針・学校経営計画の説明と確認		委嘱状交付 授業参観 副委員長を選任
第二回目		子どもの学力向上について	学校支援地域本部の活動報告
第三回目		小中一貫教育の方向性について	
第四回目	来年度の学校運営の基本的な方針について協議	地域と協働した防災訓練について	
第五回目	来年度の学校運営の基本的な方針の承認		学校支援地域本部の次年度活動予定報告

上記はあくまで一例です。上記のように各回で異なる熟議のテーマを取り上げる学校もあれば、同じテーマで複数回熟議することもあり得ます。いずれにしても、コミュニティ・スクール推進委員会は、「学校運営の基本的な方針の承認」と学校の課題解決に向けた「熟議」を軸に活動しています。

～7月の推進委員会の様子～

7月に行われたコミュニティ・スクール推進委員会の内、今回は「板橋第六小学校」、「赤塚新町小学校」、「志村小学校」の会議の様子について、ご紹介します！

板橋第六小学校（第二回目）

○開催日：令和元年7月2日（火）

第二回目となる推進委員会では、まず始めに授業参観を行いました。図工や音楽の授業の他、ICT機器を用いた授業などを見学しました。委員からは、電子黒板の見え方の改善についての提案や、授業態度については楽しそうに授業を受けている印象があった、等の感想が出ており、日ごろの授業の様子を知る機会となりました。



その後は、読み解く力の育成のために児童が受けている「リーディングスキルテスト」の難易度を上げたものを委員が体験しました。このテストはパソコンのソフトを用いて行われ、ICT機器を用いた授業を体験し、学力向上に向けた取り組み方法を共有しました。

赤塚新町小学校（第二回目）

○開催日：令和元年7月20日（土）



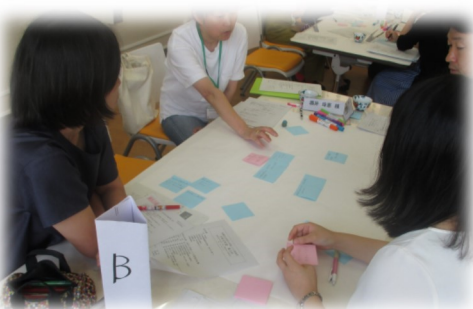
今回の推進委員会では、まず、学校支援地域本部の活動について情報共有を行いました。

続いて、「働き方改革」をテーマに2グループに分かれ熟議を行いました。教員の長時間勤務について、現状を学校と共有した上で、行事においてスリム化できる部分はないか、教員らの健康面配慮のため有給消化率を上げられないか、といった課題を洗い出しました。

そして、会議等の開閉時刻の時間厳守や、業務の軽重バランスを見直した上での業務の振り分け、補助職員の確保等の様々な提案がなされました。

志村小学校（第二回目）

○開催日：令和元年7月29日（月）



志村小学校では学芸発表会という新たな行事を企画した場合、当日の発表会だけでなく準備段階から地域の方々に協力してもらえるか、この行事が地域との協力のきっかけづくりになりえるかどうか、という視点で熟議を行いました。

教職員をまじえて熟議を行ったところ、行事の宣伝時に町会や商店街に協力してもらえないか、材料を商店街から調達できないか、といった準備段階における協力方法が提案されていました。

また、発表会のために作られた作品を中学校に掲示する等、行事を通して近隣中学校と連携することで、小中一貫教育を推進できないか、といった意見も出ていました。志村小学校では次回推進委員会においても、学芸発表会を通じた地域との連携をテーマに、熟議を重ねていく予定となっています。